

ひがし北海道価値創造パートナーシップ会議 ～新たな北海道総合開発計画の推進に向けて～

平成28年3月29日に閣議決定された「新たな北海道総合開発計画」は、「世界の北海道」をキャッチフレーズとし、これからの10年間のビジョンを示しております。

新計画では、戦略的産業として「食」と「観光」が位置づけられておりますが、オホーツク、釧路・根室、十勝の道東三圏域である、ひがし北海道は、とりわけポテンシャルの高い地域として期待されております。また、「世界の北海道」のためには地域づくり人材の発掘・育成にも重点的に取り組む必要があります。

本会議は、ひがし北海道において、課題解決や活性化に向けて取り組んでいる方々からご意見等をいただき、世界に目を向け、夢と希望の新時代幕開けの契機とすべく、より実効性の高い計画推進方策についてとりまとめ提言を行うことを目的として開催します。

[日 時] **平成28年4月27日（水）**
14:30～17:00
(14:00開場)

[場 所] **ホテル日航ノースランド帯広
2階「ノースランドホール」**
帯広市西2条南13丁目1
(JR帯広駅南口隣接)

**入場
無料**

**定員
200名**

**お申込
方法**

裏面の傍聴申込書にてお申込みください

■ 主 催：国土交通省北海道局・北海道開発局

プログラム

- 第Ⅰ部 テーマ**
「地域づくり人材の発掘・育成」
～本格的な人口減少時代にあっては「ひと」こそが資源。これからの時代に求められる地域づくり人材とは何か～
- 第Ⅱ部 テーマ**
「世界のひがし北海道2050」
～「世界の北海道」実現のため、ひがし北海道のとるべき世界戦略は何か～
- 第Ⅲ部 意見交換及び総括**

[コメンテーター]
太田昭宏(衆議院議員 前国土交通大臣)

[コーディネーター]
小磯修二(北海道大学公共政策大学院特任教授)

※敬称略

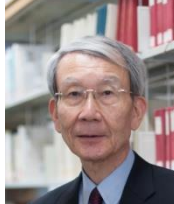
【コメンテーター】



太田 昭宏 (おおた あきひろ)
衆議院議員、前国土交通大臣

愛知県出身。京都大学大学院修了、京大時代は相撲部主将、93年衆議院議員初当選。06年から09年まで党代表、12年から15年まで国土交通大臣に就任。

【コーディネーター】



小磯 修二 (こいそ しゅうじ)
北海道大学公共政策大学院 特任教授

大阪市出身。京都大学法学部卒業。北海道開発庁(現、国土交通省)、釧路公立大学地域経済研究センター長、学長を経て、12年から現職。専門は、地域経済、地域開発政策。国土審議会北海道開発分科会計画部会委員。主な著書に、「地方が輝くために」「地域とともに生きる建設業Ⅰ、Ⅱ」。

【第Ⅰ部パネリスト】



井田 芙美子 (いだ ふみこ)
(株)いただきますカンパニー 代表取締役

札幌市出身。12年に食に関する様々な体験プログラムを企画・運営する「いただきますカンパニー」を創業。日本で唯一の「畑ガイド」を養成し、十勝を舞台にツアーを主催するなど、農村に観光客をご案内する「農村ツーリズム」事業に取り組んでいる。

【第Ⅰ部パネリスト】



林 克彦 (はやし かつひこ)
(有)ランラン・ファーム 代表取締役社長

帯広市出身。(株)北海道ホテル取締役、(株)十勝毎日新聞取締役、北海道ガーデン街道協議会会長などを兼務。企業・観光協会・自治体等と連携し、地域の農業、食品加工、観光の活性のために活動。

【第Ⅰ部パネリスト】



道山 マミ (みちやま まみ)
合同会社大地のりんご 代表社員

千葉県出身。11年にオホーツク地域の地域生産品に対する生産側と流通側の情報を結びつける第一次産業のコンサルティング業務を行うため、会社設立。小規模農産加工品の商品開発など、網走をはじめオホーツクの農産物の加工、販売の可能性を広げる取り組みを行っている。

【第Ⅰ部パネリスト】



森崎 三記子 (もりさき みきこ)
釧路モカ女性プロジェクト 代表

釧路市出身。武蔵野大学卒業。2011年5月に釧路モカ女性プロジェクトを設立。シングルマザーなど、様々な立場にある女性の就労意欲の触発と居場所作りをすることを目的として、釧路の地域活性化を女性の視点で考え、女性が個々の能力を発揮し、やりたいことや夢を実現していけるようまちづくりに取り組んでいる。

【第Ⅱ部パネリスト】



蝦名 大也 (えびな ひろや)
釧路市長

釧路市出身。08年から現職(二期目)。93年に釧路市議会議員を二期、北海道議会議員を三期歴任。

【第Ⅱ部パネリスト】



田中 敬二 (たなか けいじ)
帯広市 副市長

帯広市出身。東洋大学卒業。14年から現職。帯広市東京事務所長、商工観光部まちづくり担当調整監、農政部ばんえい振興室長を歴任。

【第Ⅱ部パネリスト】



田中 夕貴 (たなか ゆき)
北海道の地域とみちをつなぐ
ネットワーク連携会議 代表

紋別市出身。(株)紋別セントラルホテル取締役。6年前より現職、Rosehips(女性の視点を活かした道づくり懇談会)設立。「北海道観光を考えるみんなの会」等、観光事業の振興と地方産業の発展と、暮らしを守る為の活動に取り組んでいる。

【第Ⅱ部パネリスト】



野村 文吾 (のむら ぶんご)
十勝バス(株) 代表取締役社長

帯広市出身。03年から現職。利用者にとって魅力的なサービスなど徹底した利用者目線での取組を展開し、地方バスの再生モデルとして全国から注目を集めている。まちづくり、観光分野においても十勝を牽引。

【第Ⅱ部パネリスト】



水谷 洋一 (みずたに よういち)
網走市長

網走市出身。北海道大学大学院卒業。10年から現職(二期目)。北海道農協中央会、網走市議会議員を歴任。

【傍聴申込方法】

- 1 FAXでお申込みの場合は、傍聴申込書に必要事項を記載の上、下記番号へ送信してください
FAX: 011-709-5225
- 2 E-Mailでお申込みの場合は、必要事項をメール本文に入力の上、下記アドレスへ送信してください
E-Mail: ichizai@hkk.or.jp

【お申込み、お問合せ先】

(一財)北海道開発協会 渡辺、間山

「ひがし北海道価値創造パートナーシップ会議」傍聴申込書

申込期限 4月25日(月)

会社名及び部署名

傍聴者 役職・氏名(全員の役職・氏名を記載願います)

(代表者)

連絡先(代表者)